

品番：S5-\*\*\*\* 品名：エクステエナメル

(水性木材保護着色塗料)

---

## 仕 様 書

---

玄々化学工業株式会社

# 日本建築学会 材料規格 JASS 18 M-307 木材保護塗料適合品

## ホルムアルデヒド放散等級

木材保護着色塗料 国土交通省告示対象外建材 放散等級 F

認定機関：(財)日本塗料検査協会

## 特長

隠ぺい性が高く、1回塗りで仕上がるため作業性に優れる。

環境に配慮した水性系で臭いが少ない。

優れた高濃度、高耐久顔料と防腐、防カビ、撥水効果により木材を長期間美しく保護します。

水性のため不燃性で、引火性がない。

学校環境衛生基準適合

## 用途

屋外木部全般

ログハウス、外壁(羽目板、下見板)、フェンス、デッキ、パーゴラ、玄関ドア、屋外ドア、テラス、戸袋、軒天井、破風板、遊具、ベンチ等

## 塗装方法

刷毛塗り

## ご使用上の注意事項

天気の良いよく晴れた日に塗装して下さい。屋内で作業する場合には窓などを締め切らず風通しの良い場所で塗って下さい。

使用中は、手袋などをして皮膚につかないようにして下さい。

使用後は、手洗い(うがい)をして下さい。

容器からこぼれた場合には砂などを散布した後に処理して下さい。

目に入ったり、誤って飲み込んだ場合には、出来る限り早く医師の診断を受けて下さい。

5 以下のときは塗らないで下さい。

雨・雪の日や湿度が85%以上の日には、塗装を避けて下さい。

缶を開けたとき違った色に見えることがありますが、問題はありません。ご使用前に底から均一になるようよくかき混ぜて下さい。

旧塗膜を十分に取り除いて下さい。本品は、他の塗料がすでに塗装してある面には適しません。また、プリント合板・デコラ板などの吸い込みのない化粧合板などにも塗れません。

アイアンウッド等の非常に硬い材料に厚塗りをすると塗膜が剥がれる場合がありますので注意して下さい。

さい。

子供の手の届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないように注意して下さい。

植物や動物にかからないように注意して下さい。

残った塗料は、ふたをして直射日光や - 5 以下の場所を避けて保存して下さい。

やむをえず塗料を捨てる場合には、新聞紙などに塗り広げて完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

本来の用途以外に使用しないで下さい。

他社製品との併用での不具合については、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

商品は改良のため中身、仕様等は将来予告なしに変更する場合があります。

## カラーバリエーション

品番	色名	品番	色名
S5-10	カラレス	S5-3500	オーク
S5-1000	ホワイト	S5-3700	チーク
S5-1100	ライトグレー	S5-3900	パイン
S5-1500	ブラック	S5-4900	メイズ
S5-2700	ブラウン	S5-5900	グリーンアンバー
S5-2900	レッドウッド	S5-7500	オールナット

## 塗装工程

適用範囲：屋外木部全般(未塗装の場合)

仕 様：水性 着色仕上げ

工程	使用材料 / 配合比 (重量比)	塗布量 (1回)	塗り重ね 乾燥時間 (20 )
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180 ~ P220	
2	1回塗り仕上げ	エクステエナメル (S5 ライン) 100	80 g ~ 100 g/m <sup>2</sup> 24 時間以上

塗り替えの場合：十分に研磨して旧塗膜を完全に除去して下さい。

塗装工程はそれぞれ上記塗装工程を参照して下さい。

素材や仕上がり感など目的によって2回塗りも可能です。2回以上塗り重ねる場合は、3日以内に塗り重ねて下さい。

塗装される木材の種類及び状態によって塗料の吸い込みが異なり、色が違って見えることがあります。必ず試し塗りをして下さい。

塗装後の乾燥時間は、季節、気温、湿度等によって大幅に変わることがあります。

条件によって塗布量は変わりますので目安として下さい。

刷毛塗りには、ナイロン刷毛等の水性塗料用の刷毛をお使い下さい。

**メンテナンス**（仕上りの良し悪しは下地の調整で決まります。）

**POINT1. よく洗う**

泥などの汚れをブラシやタワシなどを使って水洗いします。このとき、細かな部分にこびりついたり、隙間に入り込んだ泥などもかき出しましょう。その後、日の当たる場所でよく乾燥させます。

**POINT2. 充填剤の使用**

割れやヒビがあるときは、その部分をパテまたはポリウレタン系充填剤などで埋めておきます。

**POINT3. クギの打ち直し**

板がそってクギが浮き上がっている場合は、新しいクギでとめておきます。板が割れているときは、同じ厚みの板をその部分の大きさに合わせて、クギでとめて下さい。

**POINT4. 古い塗膜の処理**

粗目のサンドペーパー（80番ぐらい）等でこすって古い塗膜をはがして下さい。場合によっては水洗いして下さい。その後よく乾かしてから塗装して下さい。

**POINT5. マスキング**

塗りたくない部分はあらかじめマスキングしておきましょう。マスキングは、養生シートや新聞紙を使うと便利です。

## 注意事項

塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所に保管して下さい。(凍結しない場所)

ご使用前には塗料を十分攪拌してからご使用下さい。

塗布量が多すぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますのでご注意下さい。又、塗布量が少なすぎると、塗料の性能が十分出ない可能性があります。標準塗布量を遵守して下さい。

塗布量は、素材の種類によって異なりますので、あくまでも目安として下さい。

塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックス等を除去してから塗装して下さい。

5 以下でのご使用は避けて下さい。(乾燥時間が著しく遅くなります)

塗装時に使用した道具は、温水石鹼で洗浄後、溶剤(アセトン)にて洗って下さい。

どのような場合でも換気に十分注意して下さい。

決して飲まないようにして下さい。もし、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。

目に入らないようにして下さい。目に入った場合は、直ちに大量の水で目を洗い医師の処置を受けて下さい。

皮膚についた場合には、石鹼で水洗いして下さい。

初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。

他社製品との併用での不具合については、一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

商品の改良のため中身、仕様等は予告なしに変更する場合があります。

製品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。

## 廃棄方法

少量の場合には、吸収材(新聞紙等)に染み込ませ乾燥後適切な場所に廃棄して下さい。

量が多い場合には、専門の処理業者に依頼して廃棄して下さい。

水路や下水道には流さないで下さい。